

# 8月3日(月) 津房ふれあい大運動会実行委員会 開催

津房地区民の、津房地区民による、津房地区民のための運動会



津房地区公民館便り

編集・発行  
津房地区  
公民館  
☎ 4 8 -  
2 0 0 1

「第 1 波を超える勢いで感染者が増えている中での開催はとても心配である」  
「参加者の安全安心を守るのには難しいのではないか」という意見がありました。  
しかし、「実行委員全員が責任を持って行動し、6 年生にとっては学校生活最後の年の運動会を地域のみんで盛り上げていきましょう。」「6 年生の思い出づくりに参加しましょう」という声に賛同。感染防止対策をしながら、尚かつ「午前中のみ」と規模を縮小し、今のところ開催する方向で話し合いをしました。

日時：9月27日(日) 8時30分 開会 <小雨決行>

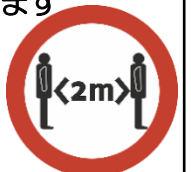
※ 雨天時は 10月4日に延期

競技：グランドゲート、五輪の輪、ぐるぐるバット

会場：津房小学校グラウンド



- ◎ 当日は感染予防対策として、マスク着用は勿論、会場入口（南と北の 2 か所）で検温、体調チェックや手指のアルコール消毒を行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、応援席等での人との間隔は、できるだけ 2m（最低 1m）空けるようお願いいたします。周囲の人は特にご高齢の方に対し、声かけなど、出来る範囲で気配りをお願いいたします。
- ◎ 競技は「密」になりにくい 3 種目に絞りましたが、複数の人が触れる競技用具等がありますので、選手の方には事前に手袋を配付します。
- ◎ 地元の中学生には例年、スターターなどスタッフとして頑張ってくださいましたが、今年は競技も少ないので選手としてご参加ください。後輩たちのためにも若い力・地元愛で運動会を盛り上げていただきますようお願いいたします。



開催まで 1 ヶ月と迫ってきました。今後の感染拡大が心配されますが、「新しい生活様式」を心がけ、また、これまで以上に熱中症にもご注意ください。そして、当日は多くのご参加をお待ちしております。

※今後の感染状況等によっては変更もあり得ます。変更があり次第、お知らせいたします。



昨年の運動会（開会式）



7月25日(土)

津房ボランティアの皆さんが公民館をキレイにしてくださいました。暑い中、お疲れ様でした。ありがとうございました。



運動会実行委員長 小野芳己

本年は「コロナ騒動の中でのふれあい大運動会でありまして、一部」中止にした方がいいのではないか」という意見もございましたが、これからの状況等も考え、現段階では行うということで実行委員の皆様のご同意を頂いたところであります。

津房地区は安心院 4 区の中では昔より、地区の宝である子供達を地区で育てるという伝統があります。これは津房のすばらしい風習であり、今後も続けていきたいと思っておりますので、コロナ禍の中ではありますが、国や市のガイドラインに則り、最大限の注意を払って臨みたいと思っております。

皆様のご理解とご協力を是非ともお願い致します。

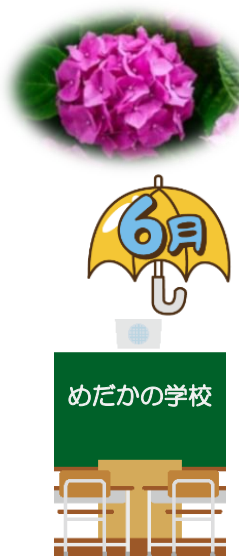
俳句

大隈草生選

津房句会

六月例会 六月二十七日(土)

兼題(六月・目高・紫陽花)



紫陽花を鮮やかにして雨あがる・洋子

(評)紫陽花は別名四葩・七変化ともいい、梅雨の頃に咲く。酸性土では藍紫、アルカリ土では紅色が強くなる(リトマス反応とは逆)。雨に濡れた鮮やかな紫紺が雨が止んで日射しに映え美しい。梅雨どきのじめじめした昏さを明るく楽しませてくれる。雨から晴への天候の変化と時間の経過による美しさをうまく捉えた。

メダカの学校今日は休校日なり・寂蓮  
野仏に供華の紫陽花供へあり・聖枝  
紫陽花が道をせばめて迂回する・茂  
紫陽花をバックに笑顔の写真撮る・一圭  
六月柿 六月芋や農愉し・草生

公民館だよりのカラー版が見られるQRコード



夏休みに入る前、津房小学校4・5年生が一生懸命に育てられたトウモロコシをいただきました。その夜、サランラップを巻きチンして食べました。

とってもおいしかったです。

玉蜀黍

tasted really good.



おおくぼさんのやさしいお話

《 70年間の望郷 》

「大分が一番いい、ふるさとが一番」、これは先日お会いした、ハンセン病の元患者で84歳になる大分県出身者Aさんの言葉です。

Aさんは14歳の時(昭和23年)に、ハンセン病患者として国立療養所に収容され、70年以上が経過しています。

ハンセン病は「らい菌」による感染症で感染力も発病力も極めて弱い病気です。

しかしながら、昭和6年に制定された「らい予防法」のもとに進められた強制隔離政策により、患者とその家族は長い間、差別と偏見の中で人間としての尊厳を否定されてきました。

国立療養所の入所者は、所内にある「望郷の丘」に登り、故郷や家族のことを想ったといいます。

平成8年に「らい予防法」が廃止されましたが、入所者の中にはふるさとに帰りたくても帰る場所がなかったり、高齢や体調の悪化のため療養所を出て生活することもできず、所内で暮らしている方々がいます。

Aさんの今の楽しみは年に一度大分県に里帰りすること、そして大分県からの来訪者とふるさとのことの話をすることです。

十八番の「今は幸せかい」をせつなく優しい声で歌うAさんのこれまでの長く厳しい苦難に思いを馳せ、「正しく知って、正しく伝えること」を実践していかなければと思います。

大分県人権啓発コラム「心ひらいて」より  
安心院中央公民館 社会教育指導員 大久保 和則

『新しい生活様式』の定着

「身体的距離の確保」「マスク着用」「入念な手洗い」「3密(密閉、密集、密接)を避ける」など基本的感染対策を取り入れた日常生活を心がける。

熱中症に注意!!

- こまめな水分補給・適度な休息(涼しい場所へ移動)・十分な睡眠・バランスの取れた食事
- ・エアコンで室温調整(時々換気)
- ・人との距離を十分に取れる場所ではマスクを一時的にはずすなど臨機応変に対応し、熱中症の危険を避ける。



食中毒にも注意を!!

人の振り見て我が振り直せず

他人の間違ひは気が付くのに、残念ながら自分の間違ひには気がつかない。  
先日、『3密』の漢字が2ヶ月続けて『蜜』になっていたヨーとチョコちゃん(?)が教えてくれました。  
公民館だよりを隅から隅まで読んでくださっていることを知り、うれしいやら、恥ずかしいやら...



今後の行事予定

8月26日(水)	編み物教室
8月27日(木)	津房地区公民館料理教室
9月26日(土)	ふれあい大運動会 準備

